

ET515「社会技術革新学事例研究1」、 開講機関「日本リファイン」および「社会技術革新学会」のご紹介

開催日:2012 年 1 月 30 日

発表者:川瀬泰人(日本リファイン(株)代表取締役社長)

開講科目のご紹介

1. 副題

リチウムイオン 2 次電池の開発の歴史に見る、技術革新と経営革新の成否の要因

2. 背景

リチウムイオン 2 次電池はソニーが世界で初めて実用化に成功し、今日ではパソコン、携帯電話スマートフォンなど、モバイル機器に必須のデバイスであり、最近では車載用、自転車用や定置型蓄電用など需要が急拡大している。

3. 講座の特徴

リチウムイオン 2 次電池開発の秘話をはじめ実用化に到るまでの経緯、材料の革新、マネジメントや経営上の問題点とその克服や、今後の応用展開など、多岐にわたって論ずる。

講師はリチウムイオン 2 次電池製造産業を実際に創造してこられた技術者、最前線で技術革新、材料革新をされてきた方々をお願いしている。

4. 講義の内容

- ・リチウムイオン 2 次電池の登場～将来
- ・リチウムイオン 2 次電池を支える材料開発の秘話
- ・リチウムイオン 2 次電池の応用展開と社会との接点
- ・日本のリチウムイオン 2 次電池業界が抱える課題

開講機関「日本リファイン株式会社」のご紹介

「資源循環」と「環境保全」を経営理念として揮発性有機化合物(VOC)の精製・リサイクルを事業としており、リチウムイオン 2 次電池の電極製造に使用する有機溶剤「N-メチルピロリドン」を資源循環する再大手企業

連携機関「社会技術革新学会」のご紹介

「技術革新、社会革新の歴史を俯瞰しつつ現場基点で検証することによって新たな変革の原動力を生み出す」ことが、当学会の趣旨

社会技術革新学会との共催

社会技術革新学会の趣旨、日本リファインの理念と社会貢献の方向性および本講座の趣旨が一致し、今回、共催という形で開講する事となった。

2012 年度前期開講講座

1. 実施期間 2012 年 4 月 10 日～7 月 17 日の間の毎週火曜日 18:30～20:30
2. 開催場所 東京都中央区京橋 2-3-19 TKP 八重洲ビル
東京駅八重洲カンファレンスセンター1F カンファレンスルーム1A